

研究課題名	脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究 Close The Gap-Stroke J-ASPECT Study 【多施設共同研究】
研究期間	倫理委員会承認日 から 2026年3月31日 まで
研究の概要・目的・背景・意義	本研究の目標は、1) 我が国の診療実態に適合し、かつ国際比較が可能な、脳卒中を含む循環器疾患の医療の質を的確に計測しうる Q I を開発・評価すること、2) 策定した Q I に基づく適切なベンチマーキングの手法を開発・評価すること、3) 未整備な回復期リハビリテーションや維持期の介護・廃用症候群防止等の標準的治療の確立に資する Q I を策定すること、4) 本邦の脳卒中、急性循環器疾患の救急搬送の実態を検証すること、5) 脳卒中の予後の改善に向けたボトルネックがどこに存在するかを、継続的に検討するフィードバックを行うことを目的としています。
研究の対象	2015年5月1日から2020年3月31日までの間、当院を受診し、で日の間に、脳梗塞、非外傷性脳内血腫、くも膜下出血、一過性脳虚血発作、もやもや病、未破裂脳動脈瘤で治療を受けられた患者さん。
研究に用いる試料・情報の種類	診療情報上の主傷病名、入院契機傷病名、もしくは診療報酬明細書上の傷病名、年齢、性別、入院日、既往歴、脳卒中に関連した診療行為及び時間経過、予後 など
研究方法	電子カルテ上の診療データを収集し、検討する。
研究における医学倫理的配慮	お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。 この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、個人が特定できる情報を使用することはありません。 本研究で得られた臨床情報およびその抽出口ジックを将来、脳卒中や循環器疾患の研究のために二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。
研究代表	国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二（責任者）
研究事務局	国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部 部長 西村邦宏
問い合わせ先	電話 06-6170-1070
当院担当者	脳神経外科 主任部長 森谷 茂太